

ドイツ日記

中嶋来未

いざアウクスブルクへ！

初めて訪れるヨーロッパ！初めて経験するホームステイ！ホストファミリーに会うまで自分の発音は聞き取ってもらえるのか、質問されたときに内容は理解できるのか、またそれについて伝わるように答えられるのか、という不安な気持ちが強くありました。実際、対面したときに聞かれた質問は半分くらいしか理解できなかつたし、もう一度言って、と何回か頼んでしまいました。それでも、2人が温かく笑顔で迎え入れてくれて一気に安心しました。

どうなるのか！ボードゲーム！

1日目。到着したのは緑のアパート。重たいキャリーバッグも私は一度も持ち上げることなく着きました。玄関を入るとすぐに小さめのキッチンとテーブル、椅子が3脚あり、部屋はリビングルームとベッドルームの2つ。私は大きなソファと可愛い棚、机が置いてある、普段リビングルームとして使っている部屋を使わせてもらいました。早速、日本から持ってきたお土産のお箸、お茶碗、キーホルダー、髪飾り、巾着、Tシャツ、筆箱、シャーペン、お菓子を渡して喜んでもらいました。続いては待ちに待った晩ご飯！さっぱりとしたサラダとシュベッツレ！おいしすぎて2回もおかわりすると、ふたりとも笑って安心したように喜んでくれました。その後、私のために前日に買いに行ってくれたというボード

ゲームをすることになりました。まず、ルールを全く知らなかつたので2人に英語で説明してもらい、実際にやりながらその都度教えてもらいました。はじめは、頭がこんがらがっていましたが、後半になるとだいたいつかめてきて、頼らなくても楽しめるようになりました。それぞれの自国の言葉が通じなくても、共通語の英語を使ってゲームを理解し、楽しめた後は大きな満足感



がありました。

2日目。少し固めのパンとチーズ、4種類のハムにフルーツ、カフェラテ、と朝からもりもり食べてスタート。昼間は、毎日使節団としていろいろな場所を訪問するため、ホストファミリーと過ごせるのは朝ご飯と夕方6時以降。2日目の晩ご飯はカリッとしたウインナーとじゃがいも。飲み物はアップルジュース！食後は昨日同様ゲームタイム！今回はカードゲームで、またまたルールを理解するのに苦労しましたが、達成感で夜はぐっすり眠ることができました。

お好み焼き事件

3日目。今日は私が日本料理をふるまう日。メニューはお好み焼きときなこ餅とフルーツポンチ。日本で練習したのは出発直前2回のみ。本当はモダン焼きを作りたいかったので、家に着くまでのバスの中に、麺があればさらにおいしくできることを伝えてみました。すると、バスを降りてスーパーに買いに行ってくれました。戻ってくるまでの間、私たちは楽しくキャベツを切っていました。そのあと、生地を作ってからキャベツと混ぜるところを、私は、生地材料を入れた時点でキャベツを入れてしまったのです。当然混ぜにくく水を足しましたが、今度は水の入れすぎでシャボシャボになってしまいました。作り方を間違えてしまったと肩を落として伝えると、ざるを出してくれ、キャベツと生地を別にして一緒に作り直してくれました。はじめの失敗の方はヌードルとソースで焼きそばに変身させました。



また、お餅を3人でこねたり、ソースとマヨネーズでハートを書いたり、共同クッキングはとても楽しかったです。特にきなこ餅は、不思議な食感！と喜んでもらえました。全部完食した後は、ホストファミリー4家族合同でボーリング！下手な私のために軽いボールを持ってきてくれたり、スペアが出たらハイタッチして一緒に喜んでくれたり、とても楽しい時間でした。驚いたの

は靴のサイズです。日本では23.5センチですが、換算するとドイツでは約36センチでした。

4日目。今夜はなにがしたい？と聞かれたので2人の思い出の写真が見たいと答えました。すると、パソコンを持ってきてくれて2人の昔の写真をたくさん見せてくれました。ここはどこ？これは誰？と会話が弾みました。ちなみに晩ご飯はビッグソーセージ！本当にビッグだったなー。

ディアンドル

5日目。今日はショッピングに連れて行ってもらう日。お目当てはドイツの民族衣装、ディアンドル！とっても可愛くてドイツに行く前から買いたいと思っていたドレス！様々な色があり、どれも可愛くてとても迷いました。値段もピンからキリまでで日本の着物と同じだなーと思いました。水色とピンク色に絞り試着室へ。しかし、着方がわからず、中から呼んで入ってきてもらいました。リボンがボーイフレンドがいれば右に、いなければ左につけるのよ、と教えてもらいました。ピンク色のディアンドルを購入したあとは、他のホストファミリーの家で3家族合同ゲーム大会！すごい豪邸で家の中を案内してもらいました。



6 日目。フェアレールパーティー。私たち尼崎青年使節団はクイズ班と書道班に分かれて出し物をしました。司会を担当することになった私は、通訳の原さんとりかさんに問題文や進行など全ての台詞をドイツ語に訳してもらいカタカナで表記し発音の練習をしました。とにかく楽しんでやろう！と思っていたので全く緊張せずに、アドリブも英語で利かしながら成功に終わることができました。終わってから、たくさんのホストファミリーにドイツ語と進行の仕方を褒めてもらって堂々と頑張ってたよかったです。最後に、全員で SMAP の「世界に 1 つだけの花」を歌い、みんなが 1 つになったような気がしてとても感動しました。



7 日目。朝から晩までホストファミリーと過ごせる日。私たちは世界 1 大きい祭り、オクトーバーフェストに行きました。世界一というだけあり、世界各国からたくさんの人がディアンドルを着て集まってきました。また、約 200 の移動式アトラクションが集結しており、私は高さ 50 メートルの 360 度回転する絶叫アトラクションに乗りました。ドイツのすばらしい景色を逆さまになって見たり、すごいスピードで激しく振り回されたり、最高におもしろかった

です。お昼ご飯は、朝、家から持ってきていたパン 2 つと、ウインナーとソーセージとチョコバナナを買って食べました。オクトーバーフェストを満喫した後は 2 つ目のお祭りに移動して 5 家族合同で晩御飯！生ライブつきの広い会場にたくさんの人が集まっており、みんな愉快地歌いながら椅子の上に乗って踊ったりしていました。乾杯の掛け声は覚えるほど何回も出てきました。「アインス、ツヴァイ、ドライ、ズッフアプロースト！」(1,2,3、飲み干せ 乾杯！) 隣の人だけでなく見知らぬ人同士でも、笑顔がこぼれる素敵な掛け声です。歌も全部は歌えなかったけど、所々一緒に歌って椅子の上に立って踊りました。ここで歌ったドイツの曲は日本に帰ってからも時々 YouTube で聞いています。

DANK E ! !

8 日目。お別れの日。朝、いつも通り美味しい朝食を食べ、2 人の似顔絵と感謝のメッセージを書いたポストカードを 2 枚、2 人に渡しました。早朝、ドイツ語を頑張って調べた甲斐もあり、とても喜んでくれました。渡した後は自分も欲しくなり、ポストカードを 1 枚出してそれぞれ自分の似顔絵と私へのメッセージを書いてもらいました。その中の 1 文に「You came as a foreigner and leave as a friend!」とあり感動しました。30 分ほどリッヒ川沿いをおしゃべりしながら散歩し、車で市役所に移動しました。感謝の気持ちをしっかりと伝え、抱き合った後は号泣しました。期間としては長くはなかったけれど、一緒に生活する中で、本当に心を通わし私にとって 2 人はかけがえのない存在になってしまし

た。失敗を恐れずに明るく積極的にドイツで過ごした時間は最高の宝物です。今はFacebookで連絡をとっています！最後になりましたが、今回のドイツ派遣にかかわって下さった全ての皆さん本当に本当にありがとうございました！！